

期待される効果

① 幹線道路の交通混雑解消

当該区間の4車線整備（交差点立体化）により、主要渋滞箇所を回避可能になり交通混雑の解消が期待されます。

旅行速度の変化

現状 **16km/h** → 整備後 **60km/h**

※【現況】H27全国道路・街路交通情勢調査(側道)、【整備後】R12将来交通量推計結果に基づき算出(岡山西バイパス本線)

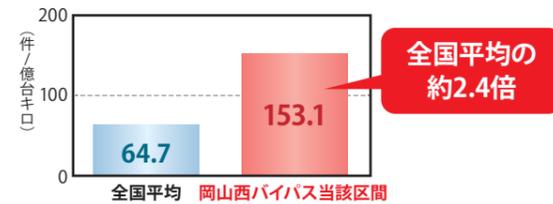


② 幹線道路の交通安全性の向上

当該区間の交通混雑の解消で、交通混雑に起因する追突事故が削減されます。また、事故危険箇所2箇所を回避可能となり交通安全性の向上が期待されます。

出典：【全国平均】交通統計 平成29年版、【事業区間】H26-H29 ITARDAデータ

岡山西バイパスの死傷事故率の水準



③ 救急医療活動の円滑化

当該区間の交通混雑が解消することにより、第二次救急医療施設への搬送時間が短縮し、救急医療活動の円滑化が期待されます。

吉備中央町から市立市民病院への搬送時間

現状 **51分** → 整備後 **43分** (約8分短縮)

※H27全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より 【現況】側道利用ルート、【整備後】岡山西バイパス本線利用ルート(対象区間は設計速度60km/hで算出)



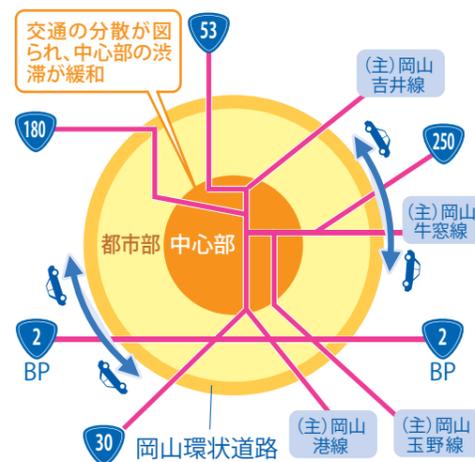
④ 広域交通・物流の効率化

岡山環状道路は、国(国土交通省)及び岡山市が事業を進めている岡山市街地の外側を一周する延長約40kmの高規格道路です(岡山西バイパスは、岡山環状道路の西側区間となります)。

岡山市中心部に流入する通過交通などを適切に分散導入し、交通混雑の緩和を図るとともに、周辺に位置する岡山港や岡山空港など広域交通・物流拠点との連結性の向上が期待されます。

放射状道路の連絡による交通の分散

- 郊外から中心部への交通を分散導入する機能
- 通過交通の都市部への流入を防ぐ機能



国土交通省 中国地方整備局

岡山国道事務所

〒700-8539
岡山県岡山市北区富町2丁目19-12
TEL 086-214-2220 (代)



<https://www.cgr.mlit.go.jp/okakoku/>

津山出張所 〒708-0873 津山市皿633-2
TEL 0868-28-1215

岡山維持出張所 〒700-0942 岡山市南区豊成2丁目11-36
TEL 086-262-1542

玉島維持出張所 〒713-8103 倉敷市玉島乙島5656
TEL 086-522-4004

岡山国道事務所
X(旧Twitter)



岡山国道事務所
YouTube



岡山国道事務所
Instagram



GOOD ROUTE

一般国道180号

岡山西バイパス

(西長瀬～櫛津)



市内流入交通を分散し、渋滞緩和を図る

岡山西バイパスは、高規格道路岡山環状道路の一部を構成する一般国道2号岡山バイパス（大樋橋西交差点）から一般国道180号（梶津交差点）に至る延長5.6kmのバイパスです。岡山市中心部では、特に朝夕の通勤時間帯に流入する交通によって慢性的な渋滞が発生していることから、市内流入交通の分散によって交通渋滞の緩和を図ることを目的としています。

平成22年度までに側道部が開通（岡山市南区古新田～北区榑津：延長5.6km）し、令和2年度に一部専用部（北区西長瀬～北区榑津：延長3.5km）の整備が事業化しました。



経緯

昭和49年度	調査着手
昭和54年3月30日	都市計画決定
昭和54年度	事業着手（1工区）
昭和56年度	工事着手
昭和58年1月21日	都市計画変更
昭和63年度	事業着手（2-1工区、2-2工区）
平成5年度	事業着手（共同溝）
平成12年12月20日	高規格道路「整備区間」指定
平成13年3月30日	都市計画変更（平面構造→複断面構造）
平成17年7月24日	南区古新田～北区西長瀬 側道部開通
平成21年度～22年度	北区西長瀬～北区榑津 側道部開通
平成22年3月24日	北区西長瀬～北区野殿西町 側道部開通
平成23年3月27日	北区野殿西町～北区榑津 側道部開通
令和2年度	事業着手（西長瀬～榑津 専用部）

計画諸元

区間	岡山市北区西長瀬～岡山市北区榑津
計画延長	3.5km
道路規格	第4種第1級
設計速度	60km/h
車線数	4車線

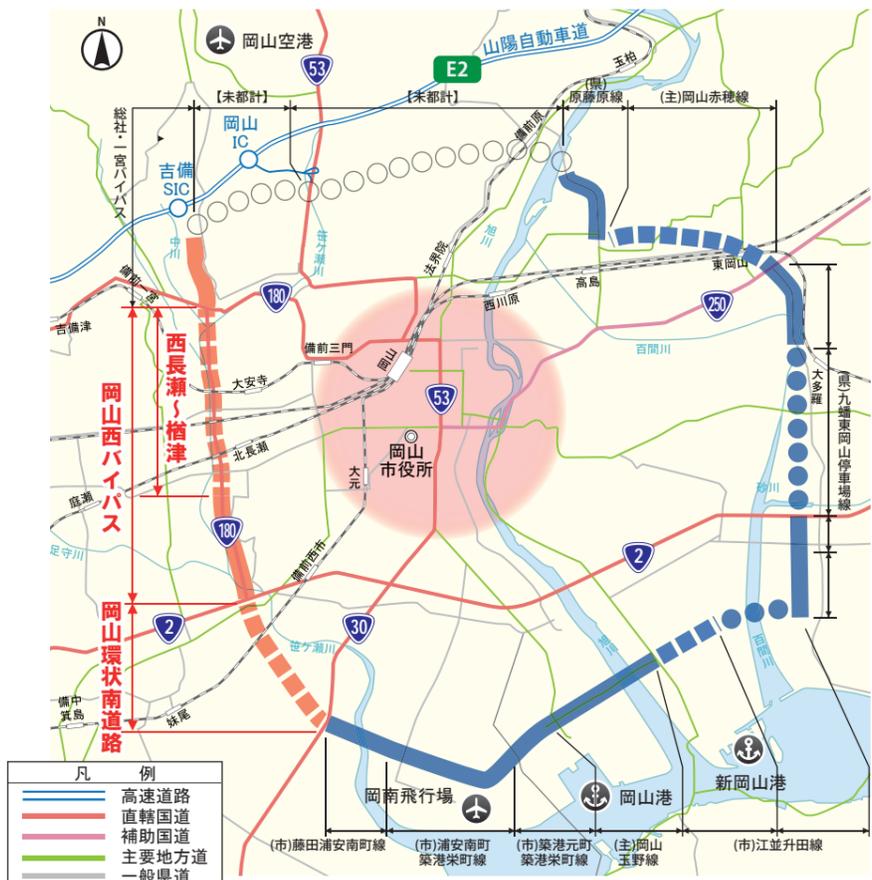
岡山環状道路網計画図

岡山環状道路	国管理	市管理
供用済区間 ※暫定供用含む		
未供用区間 (事業中)		
(既都計)		
(未都計)		

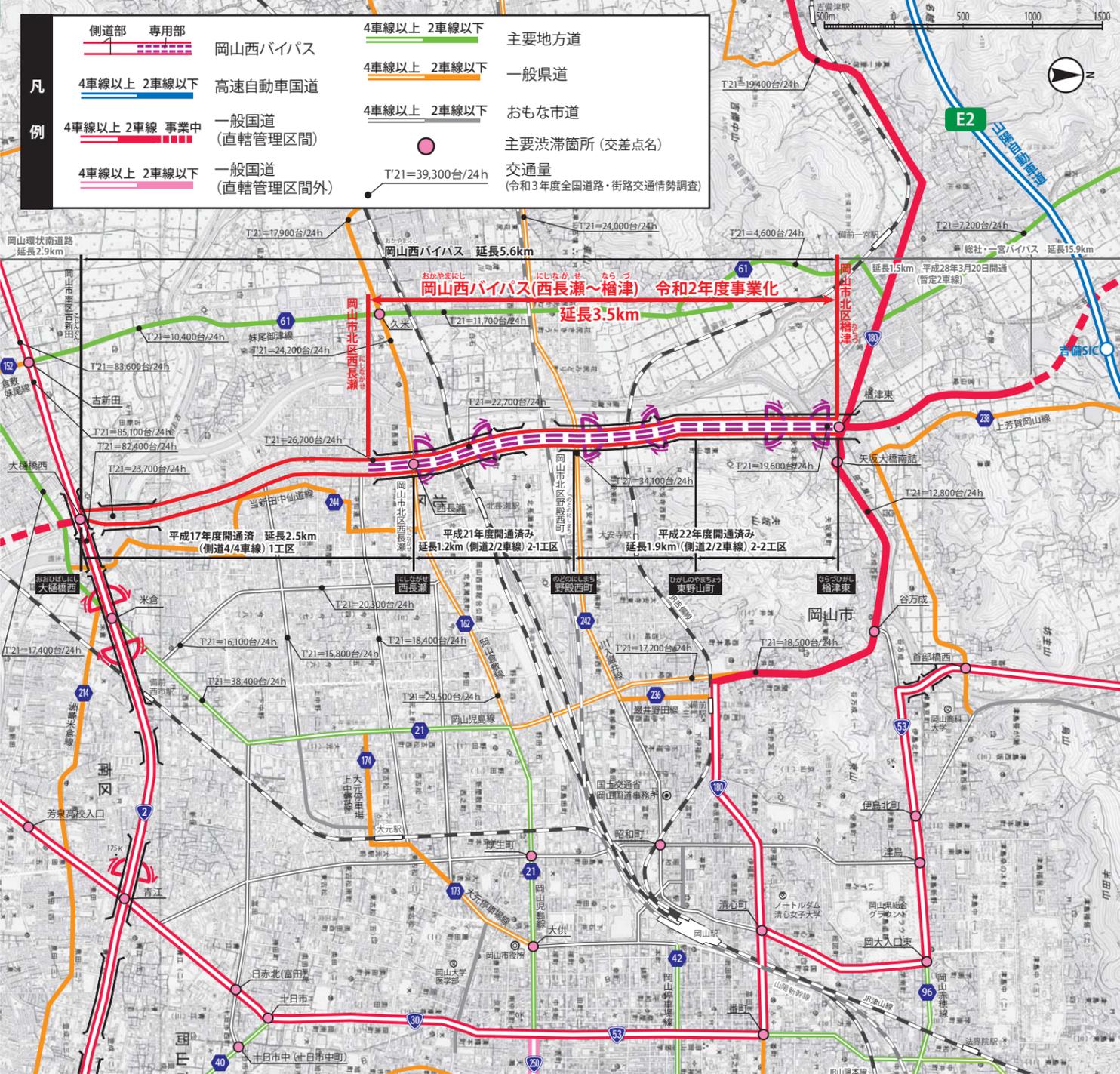
※既都計：都市計画道路に指定されている道路
未都計：都市計画道路に指定されていない道路

高規格道路とは、人流・物流の円滑化や活性化によって我が国の経済活動を支えるとともに、激甚化、頻発化、広域化する災害からの迅速な復旧・復興を図るため、主要な都市や重要な空港・港湾を連絡するなど、高速自動車国道を含め、これと一体となって機能する、もしくはそれらを補完して機能する広域的な道路ネットワークを構成し、地域の実情や将来像（概ね20～30年後）に照らした事業の重要性・緊急性や、地域の活性化や大都市圏の機能向上等の施策との関連性が高く、十分な効果が期待できる道路です。

都市計画道路とは、都市の骨格を形成し、安全な生活と機能的な都市活動を確保するため、法に基づいて決定された道路です。都市計画道路の計画区域内では、事業の円滑な実施を確保するため建築行為に一定の制限がかかります。



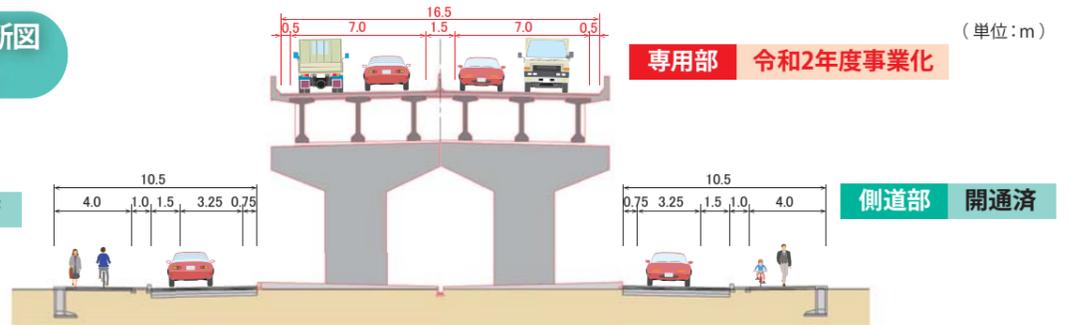
凡例	高速道路
	直轄国道
	補助国道
	主要地方道
	一般県道



電子地形図25000（国土院）を加工して作成

標準断面図、縦断面図 (西長瀬～榑津)

側道部 開通済



専用部 令和2年度事業化

側道部 開通済

